



よしかわ市民ネットワーク



社会のかたちを「こどもまんなか」へ



未来を担う 子ども達の幸せの為に

国は今年4月に、こどもが自立し等しく健やかに成長することのできる社会の実現に向け、こども家庭庁を創設。

全てのこどもや若者たちが幸せに暮らせるように、最も良いことは何かを考えた取り組みを国の中心に置いていくとしています。



国の「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、アクションに取り組みたい個人、団体・企業、自治体を「こどもまんなか

応援サポーター」とし、「こどもまんなか応援サポーター宣言」をしています。

吉川市も「こどもまんなかサポーター宣言」を！

埼玉県は6月に、近隣の5市1町の中では越谷市、草加市、三郷市がその宣言をしています。草加市では「こどもまんなか そうか」を合言葉に掲げるなど、取り組みの意気込みを感じます。

この宣言をすることは、妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援がある子育てしやすいまちとして、市内外へアピールすることにも繋がります。吉川市として、宣言に前向きに検討するよう要望しました。

しかし、今議会での答弁は「宣言の趣旨は理解しているが、すぐに取り組む予定はない」というもので、大変残念です。

HPのトップページを子育て世代向けに

子育て世代に寄り添った内容・デザインのリニューアルや公式 SNS 等ソーシャルメディアのリンク先の掲載を提案しました。

SNS は、若い子育て世代にとって特に身近なツールです。トップページに掲載することで、情報が欲しい市内外の方の目に触れやすくなり、子育て関連などの市の取り組みを知ってもらえるきっかけになります。市は大幅な変更の予定はないとのことですが、子育てのしやすさが感じられるような工夫を要望しました。

「気候変動適応センター」に期待

今年の世界の気温は、観測史上最高を更新するとの見通しです。気候変動に対して早急に対策を講じなければなりません。現在、国が行っている温暖化対策は①温室効果ガスの排出量を少なくする「緩和策」と、②気候変動の影響による被害を回避、低減する「適応策」です。

市は今年4月、県との共同で環境課内に「気候変動適応センター」を設置しました。適応策の様々な情報の収集・分析等を行う拠点となります。

現在、市ではハザードマップの作成、熱中症警報システム等に取り組んでいますが、さらに水害対策としてグリーンインフラの活用など積極的に推進してほしいです。どのような取り組みが気候危機対策に繋がるのかを、市民に分かりやすく周知・啓発をすることも必要です。

地球環境が危機的な今、未来を担う子ども達に健やかな自然環境を残し、持続可能な循環型社会にしていくことが私たち大人の使命だと思います。

小山市政の基盤は「人・いのちに直結する環境」

渡良瀬遊水地でコウノトリが孵化したまちとして有名な小山市(栃木県)が有機給食を始めたこと聞き、その導入の経緯やコウノトリのことを伺いに、市役所と渡良瀬遊水地・コウノトリ交流館を訪問しました。

自然と共生するまちづくり小山市

説明していただいた部署のうち「自然共生課」という課名が新鮮でした。小山市は10年以上前から有機農業の取り組みを始めていて、有機農業の講演会開催や機械の貸し出しなどの努力を重ね、新規営農者も増えているそうです

一昨年、国の「みどりの食料システム戦略」が出されたことで、今年「オーガニックビレッジ」を宣言し、有機給食も始まりました。有機給食は有機農業の周知やその販売先の確保にも繋がります。35校の小中学校の殆どが自校給食ということも、導入のハードルを下げたと感じました。交付金等を組み入れ700万円の予算を上乗せしての有機給食事業。

「オーガニックビレッジ宣言」をすることで、目指す方向性が示され、市全体の政策の基盤が「人・いのちに直結する環境」にあることが明確になります。説明して下さる職員の方々の熱意が印象的でした。

渡良瀬遊水地・コウノトリ交流館

コウノトリは有機給食と密接に繋がっていました。食物連鎖の頂点にあるコウノトリがいるということは、その地域には餌となる多様な生き物が多く生息していること。コウノトリを守るとは生物多様性・生態系を守ること。ひいては生物のひとつである人間も安全に暮らせる環境に繋がるのです。

コウノトリの生態を知らせる交流館は企業・市民の環境活動の拠点にもなっていました。

今年5月に誕生したヒナは既に巣立っていて、見ることが出来ず残念でした。3年連続で孵ったヒナのパパは、吉川市のお隣の野田市が放鳥したヒカル君とのこと。もしかしたら吉川市にも立ち寄ってくれていたかもしれません。(M.I)



●市民ネットワークの3つのルール

- ① 任期は最長3期 12年で交代
- ② 選挙はカンパとボランティア
- ③ 議員報酬はみんなの活動費

YouTubeチャンネル始めました！
ぜひ登録してね！

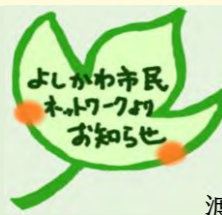


HPはこちら→
yoshikawa-shimin-net.blogspot.com



よしかわ市民ネットワークは
岩崎さゆりを市議会に送っています

よしかわ市民ネットワーク



◆議案を読む会

11月26日(日)13:30~15:30
@コミュニティスペース くるり

◆12月議会予定

12月1日(金)~12月15日(金)
傍聴しよう！インターネット配信もあります。

◆まちかどカフェ&12月議会報告会

岩崎さゆり市議から市政の報告を
12月23日(土)13:30~15:00
@コミュニティスペース くるり

◆学習会：高齢者施設ってどんなところ？

費用はどのくらいかかるの？
様々な施設があるけど、違いは？
10月31日(火)

10:00~12:00 @松伏会館 洋室
13:30~15:30 @おあしすセミナーム3

講師：竹内真哉相談室長
(株)山崎帝國堂 相談室大樹(たいじゅ)
~老人ホーム選びをサポート~

◆放射能測定

11月6日(月)13:30
@市役所ナマズ像前集合
福島原発の処理はまだ終わっていません。
今年も9カ所の測定をします。

2024年1月28日は

吉川市議会議員選挙投票日です！

投票に行きましょう！

●ポスティングボランティア募集中♪

一緒にいきいきレポートを配布して下さる方のご連絡をお待ちしています(^o^)/

●皆様からのご意見・ご感想

ご入会希望等お問合せはこちら！
MAIL: yoshikawa.shimin.net@gmail.com
FAX : 048-983-1835



YouTubeチャンネル始めました！
ぜひ登録してね！



HPはこちら→
yoshikawa-shimin-net.blogspot.com





さゆりの毎日コッコッと

こどもの目線、子育て世代の声を大切に

岩崎さゆりの連絡先
〒342-0005
埼玉県吉川市川藤 774-1
070-1187-3828
sayur.ing.iwasaki@gmail.com

サンコーテクノプラザを視察

8月、千葉県流山市にある「サンコーテクノプラザ」に行ってきました。人口増加率ランキングが全国4位の流山市。子育て世帯をターゲットにした魅力発信など、先進的な取り組みで注目されている自治体です。

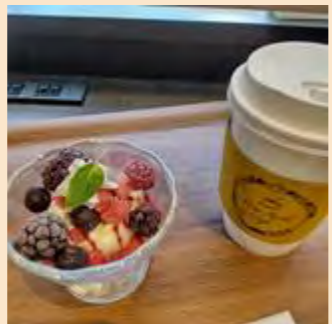
4階建ての施設には児童センター、図書館、体育室などがあり、なんと1階にはカフェ、多目的ラウンジがあるのです。併設された図書館を移動しながら、ゆっくりと過ごせる開放的な空間。公共施設とは思えないオシャレな雰囲気です！撮影不可で館内の賑わいをみなさんにお伝えできないのが残念です。

館内で行われる子育てイベントの活動後アンケートでは、参加者の100%が「次回もぜひ参加をしたい」と回答。また、イベントの企画や運営にも参加をしてみたいとの声もあったそうです。

92.2%の方が「住み続けたい」と答える流山市。子育て支援の取り組み等、大変参考になりました。



工作室:子ども達が夢中になって作業をしていました



手軽なお値段で美味しくいただけます



岩崎さゆりの活動記録



環境カウンセラー
岩田京子が送る

京子と一緒にSDGs

B-Corp (ビーコープ) 認証制度ご存じですか？

「地球沸騰化」 鬼気迫ったものを感じた夏の猛暑。真剣にSDGs達成にむけて取り組まなくては！と思ったのではないのでしょうか。

SDGsへの道しるべの一つになり得るのが、アメリカ発の国際企業認証「B-Corp」です。

B-Corp とは社会課題や環境問題に関わるあらゆる側面において、高い基準を持って行動している企業に与えられる認証です。Bは「Benefit(利益)」を意味します。「利益」といっても、株主の利益に限らず、従業員の福利厚生から慈善事業、サプライチェーンの管理、原材料の調達など、従業員・消費者・地域社会・環境など包括的な利益のことです。



「持続可能性」「透明性」「説明責任」等の厳しい評価基準に基づき評価・認証する制度で、SDGs時代のムーブメントになっています。世界中で6000社が取得。日本では今年9月現在、まだ31社ですが、準備中の企業は続々と増えています。ISOなどと違い、大企業で取組むというよりは、志ある経営者がいる中小企業が多く取得しているのが特徴です。取得しないまでも、それら評価基準はSDGs経営に参考になるはずです。



詳しくは→<https://bthechgjapan.net/>

傍聴席(インターネット中継)より

9月議会の傍聴ツアーに、15人以上が参加し、岩崎さゆり議員の一般質問を中心に傍聴しました。

傍聴ツアーは、私たちの収めた税金がどんな使われ方をしているのか、それがどんな風に決められているのかを自分の目で見てみよう！という趣旨で開催しています。

一般質問では子育て支援、こどもの熱中症予防対策、気候危機対策、市の生物多様性の取り組みについて質問しました。傍聴の後、席を移し、旭地区から初めてツアー参加した方たちを交えて、プチ座談会をしました。

「どうやって傍聴するのか、個人では分からなかったのですが、こうした企画があってよかった。」「議会が少し身近に感じました。」との感想がありました。一人でも多くの市民が足を運び、市政に関心を持ってもらいたいと思います。

自分が選んだ議員はどうしているのか。短い時間でもいいので、ぜひ議会の傍聴に来てください。(T.M)



議会傍聴ツアー



傍聴後に気候危機アクション！

給食センターで学校給食を食べました！

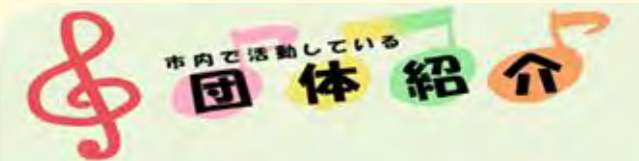
7月12日の猛暑の中、吉川市学校給食センターを見学しました。給食センターは2階建ての明るい建物で、川藤にあります。給食を作る工場は1階にあり、2階から工場を見ることが出来ます。工場は、荷受けから検査、洗浄までを行う下処理コーナー、食材のカットから完成まで行う調理コーナー、調理された料理を学校ごとにセットして各学校に配送するコンテナコーナー、回収した食器やトレイを洗浄する洗浄コーナーなどに分かれています。



調理コーナーには、野菜をカットする機械や大きな釜(16基)が並んでいました。加熱は直火ではなく蒸気で行われています。奥には焼き物・揚げ物室とアレルギー対応の調理室があります。11時頃には、多くの従業員が釜の洗浄や片づけをしていました。吉川市の12か所の小中学校の給食を毎日支える大変な仕事だと思いました。給食センターでは、SDGsや地場産野菜の使用促進、残菜を減らす取り組みなどが行われています。今後、有機野菜を積極的に使ってほしいと思います。見学を終えて、楽しみにしていた給食をおいしくいただきました。ごちそうさま、そしてありがとうございました。(T.M)



トックスープ
春巻き、
炒めナムル
ごはん、牛乳



『ビッグ・リトル・ファーム』上映会実行委員会

10/28(土) 18:00~
吉川初★野外上映会やります！



この映画はカリフォルニア郊外で有機農業に取り組む夫婦のドキュメンタリーです。

自然の美しい映像が素晴らしい映画です。世界中の生物には何一つ無駄がなく、すべてが活かされています。そんなことがストンと胸落ちする映画です。

実行委員会のメンバーは、気候変動よりも深刻な生物多様性をみんなで考えていきたい、農業や土の大切さを実感し、暮らしと繋げることをしていきたい、そんな熱い想いで企画しました！

ぜひ観にいらしてください。

チケット800円(ワンドリンク付き)は市民活動サポートセンター(おあしす内)で販売中。事前取り置きもできます。お問合せください。

090-1503-1115(岩田)